

2012年3月期 決算説明会



2012年5月10日

<http://www.tsugami.co.jp>

1. 業績と見通し	P. 2～P. 6
2. 受注状況	P. 7
3. 財務状況	P. 8～P. 10
4. 主要課題	P.11～P.12

1.業績と見通し

(1) 業績推移 - 通期 -



2011年度概況

<売上高> 計画通り

- ・ 上期は円高及び中国の金融引締の影響もあり、日・欧米・アジア共に市況は低迷
- ・ 下期は多少円安傾向に振れた事、またスマートフォン市場への参入が実現・タイ復興需要も加わり回復

<利益面> 計画比増益

- ・ 下期は円安効果に加え、円高対策諸施策の効果も実現 スマートフォン市場・タイ復興需要に伴う増収効果もあり、増益となる

2012年度見通し

<売上高>

- ・ タイ復興需要は一巡するも、スマートフォン市場参入効果もあり、増収予想
- ・ 中国市場は徐々に回復、反面日・欧米の市場は不透明、欧州を中心とした金融市場への不安は払拭できず

<利益面> 利益額・率ともに増高を予想するが、利益水準の不透明感は否めず（為替水準不安定）

単位：億円

	2010年度	2011年度				2012年度計画	
	通期実績	当初計画	通期実績	前期比	当初計画比	通期計画	前期比
売上高	359	360	357	△2	△3	550	+193
売上総利益 (売上比)	74 (20.5%)	- -	84 (23.4%)	+10 (+2.9%)	- (-)	- (-)	- (-)
営業利益 (売上比)	37 (10.4%)	36 (10.0%)	41 (11.4%)	+4 (+1.0%)	+5 (+1.4%)	88 (16.0%)	+47 (+4.6%)
経常利益 (売上比)	35 (9.8%)	35 (9.7%)	39 (10.8%)	+4 (+1.0%)	+4 (+1.1%)	84 (15.3%)	+45 (+4.5%)
当期純利益 (売上比)	28 (7.9%)	22 (6.1%)	23 (6.4%)	△5 (△1.5%)	+1 (+0.3%)	52 (9.5%)	+29 (+3.1%)
一株当り当期純利益	42.7円	33.3円	33.9円	△8.8円	+0.6円	70.7円	+36.8円

(2) 業績推移 - 半期・Q別 -

2011年度概況

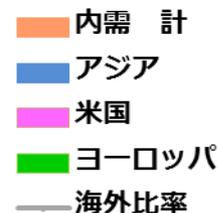
スマートフォン向け・タイ復興需要が4Q売上に寄与
また円高対策の諸施策の効果実現、多少円安に振れた事もあり、
4Qは 利益額・率ともに上昇

単位：億円

	2010年度		2011年度						2012年度 計画
	上期	下期	上期	下期	1Q	2Q	3Q	4Q	上期
売上高	203	156	167	190	84	83	74	116	300
売上総利益	43	31	35	49	17	18	18	31	-
(売上比)	(21.5%)	(19.2%)	(21.0%)	(25.4%)	(20.0%)	(22.1%)	(24.1%)	(26.2%)	(-)
営業利益	25	12	14	27	6	8	7	20	48
(売上比)	(12.3%)	(7.9%)	(8.4%)	(14.1%)	(7.6%)	(9.2%)	(9.8%)	(16.9%)	(16.0%)
経常利益	23	12	12	27	6	6	7	20	46
(売上比)	(11.6%)	(7.4%)	(7.3%)	(13.9%)	(6.7%)	(7.9%)	(9.8%)	(16.6%)	(15.3%)
当期純利益	20	8	9	14	5	4	4	10	28
(売上比)	(10.1%)	(5.1%)	(5.2%)	(7.4%)	(5.5%)	(5.0%)	(5.1%)	(8.8%)	(9.3%)

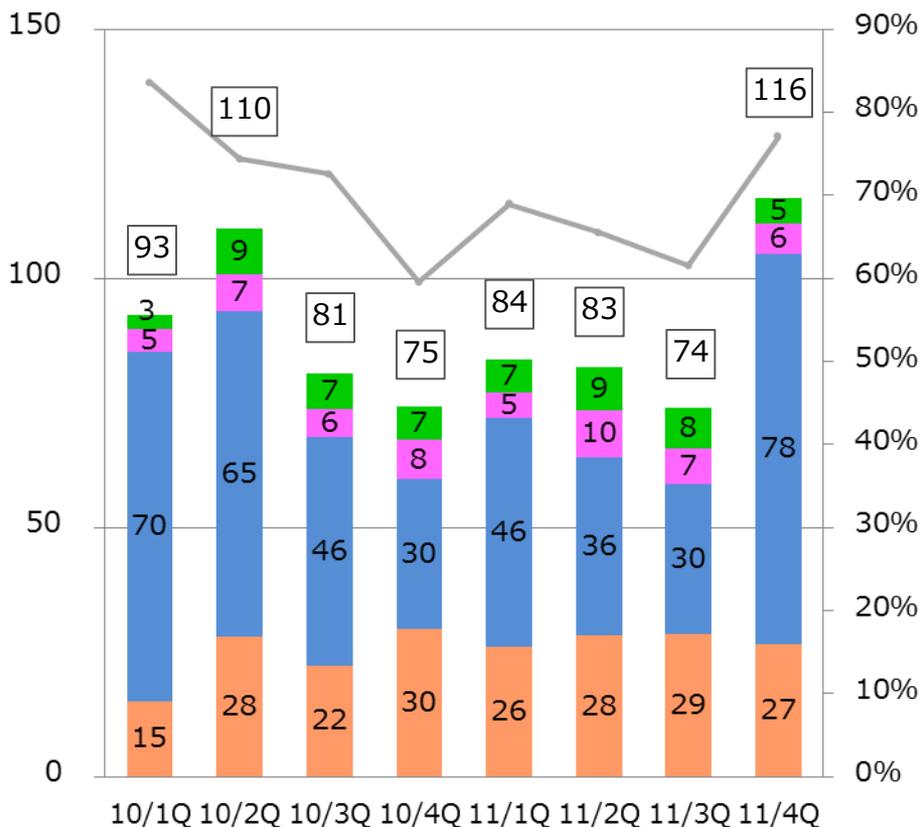
(3) 地域別売上高

- ・日本、欧米市場ともに伸び悩む
- ・アジア、中国市場は緩やかに回復中
- ・スマートフォン向け(中国) 及びタイ復興需要が加わる



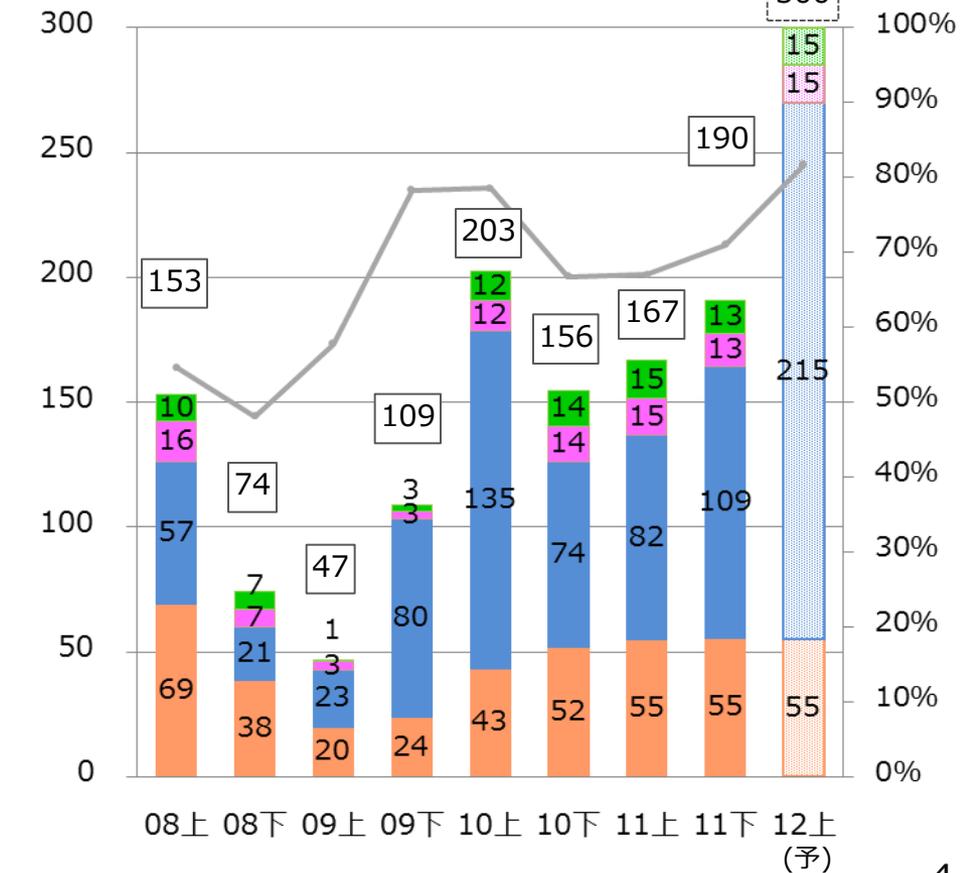
四半期

単位：億円



半期

単位：億円



(4) 業種別売上高

自動車：2011年度は横ばい、2012年度 回復期待

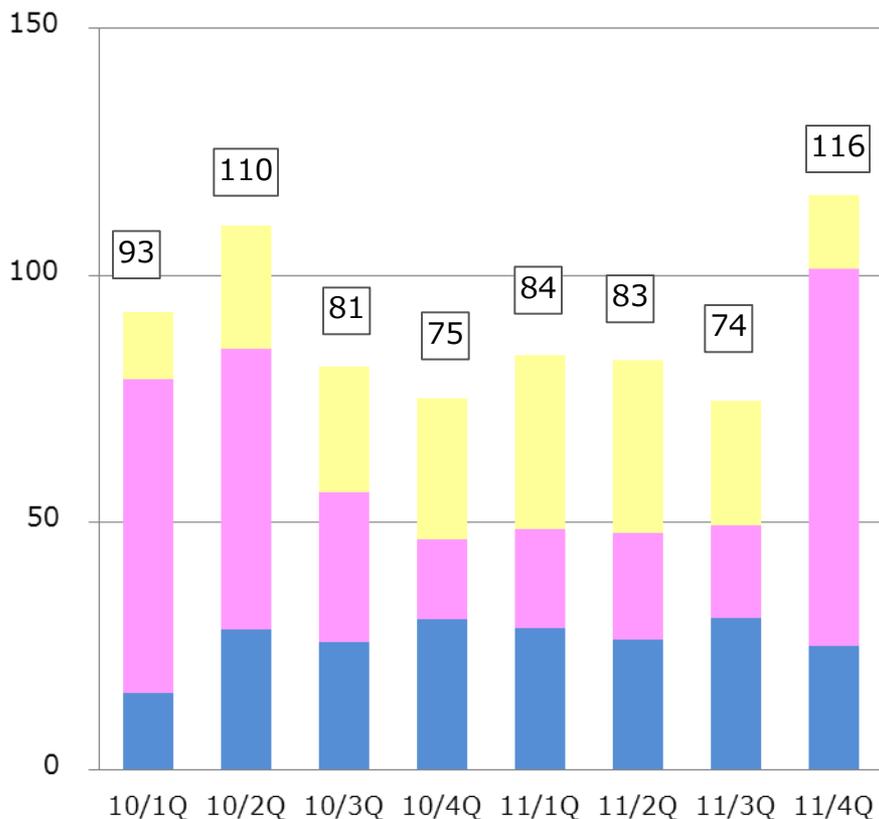
IT：HDD関連はタイ復興需要は一巡するも、新たな設備投資の動きあり
スマートフォン向け市場の対応強化

その他：空圧機器は強含み、医療は堅調

- 自動車関連
- IT
- その他(油・空圧、医療他)

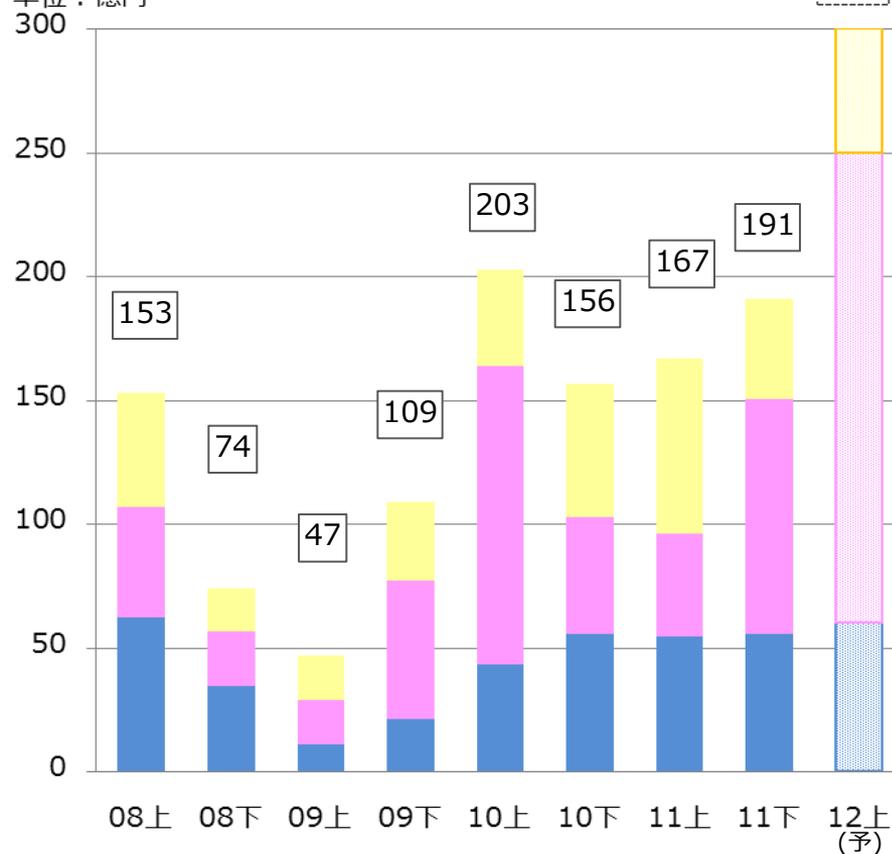
四半期

単位：億円



半期

単位：億円



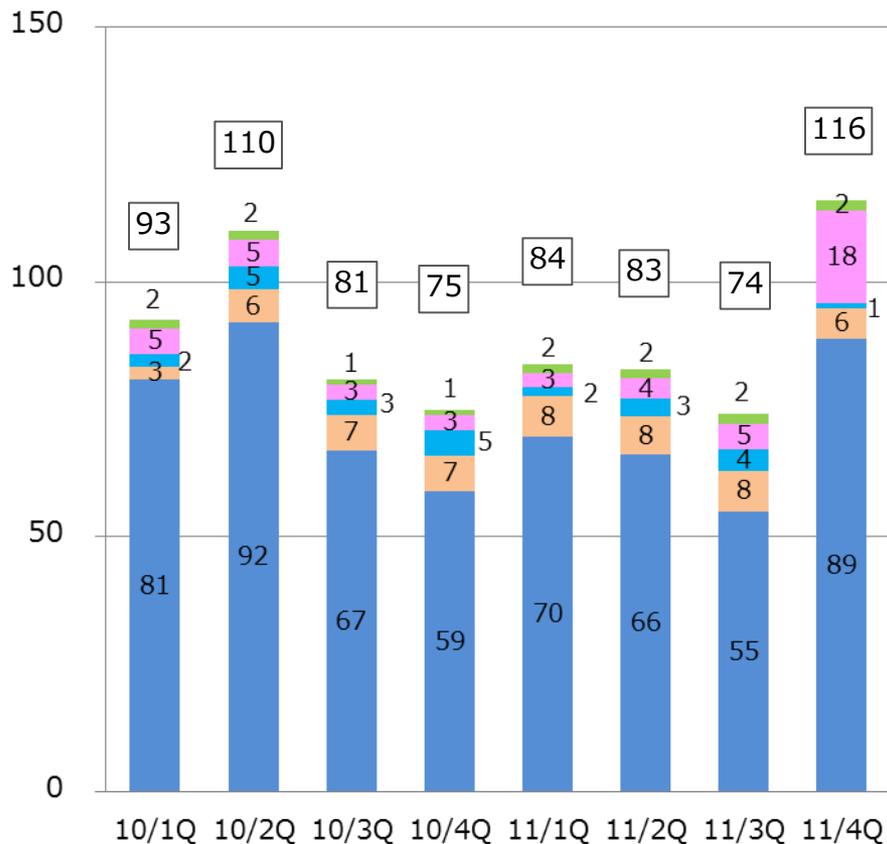
(5) 機種別売上高

* 2012年度はスマートフォン市場参入に伴い、
自動旋盤・タッピングセンタ(「■ 転造盤、専用機」に分類)が伸長

- 自動旋盤
- 研削盤
- マシニングセンタ
- 転造盤、専用機
- その他

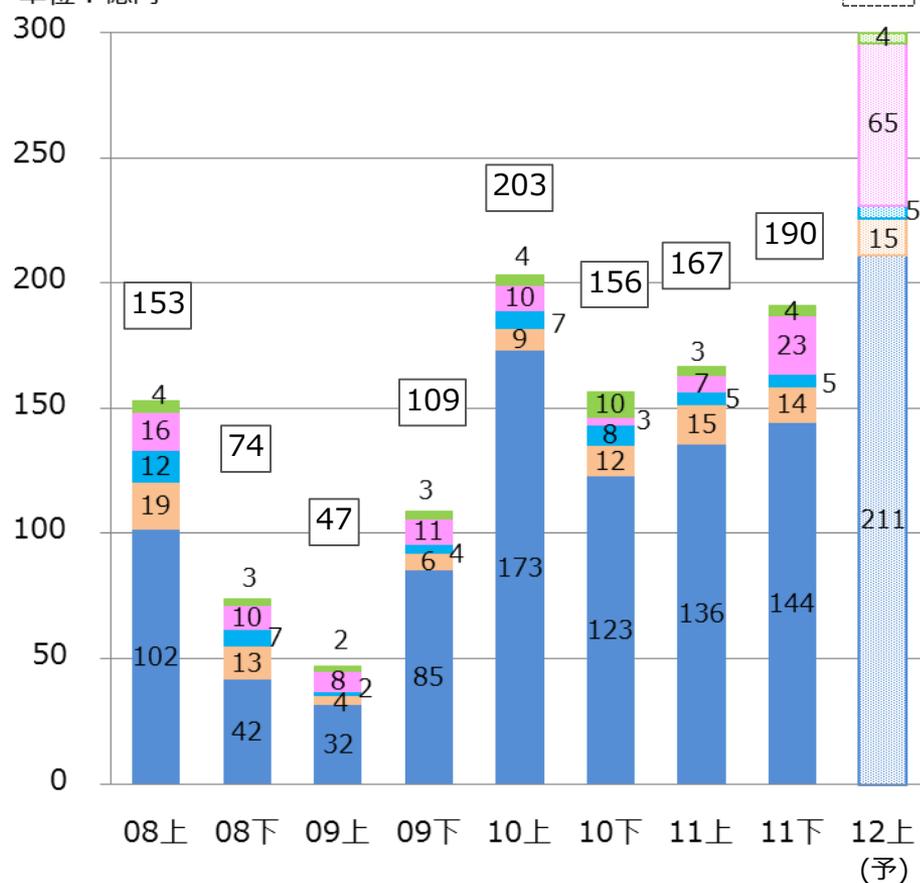
四半期

単位：億円



半期

単位：億円

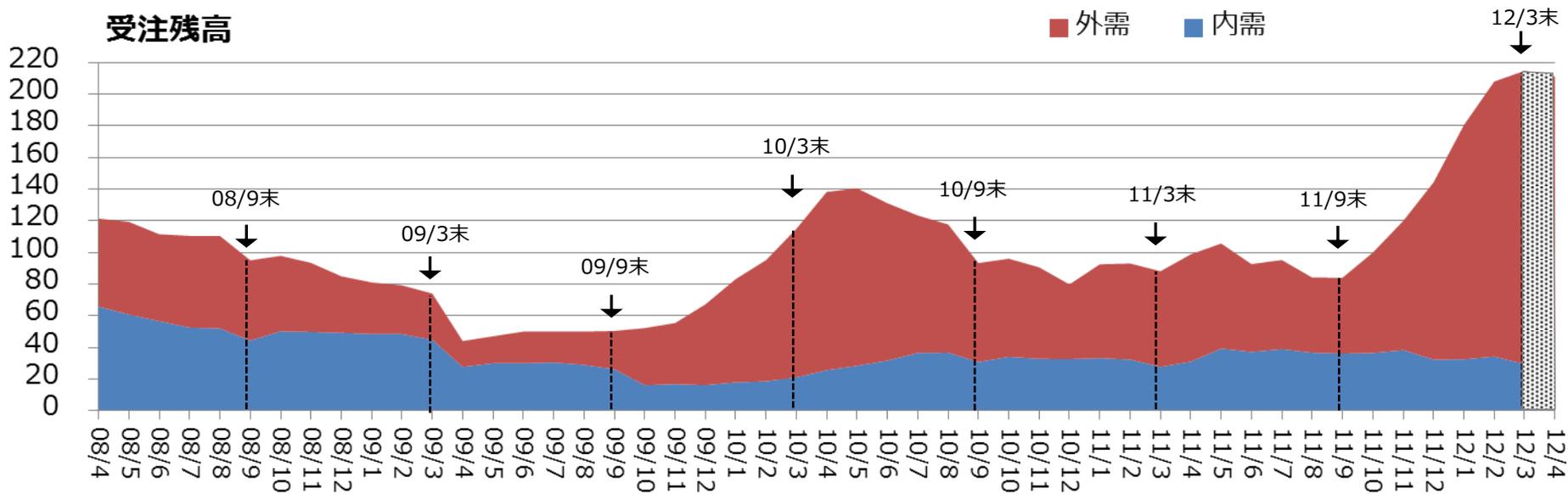
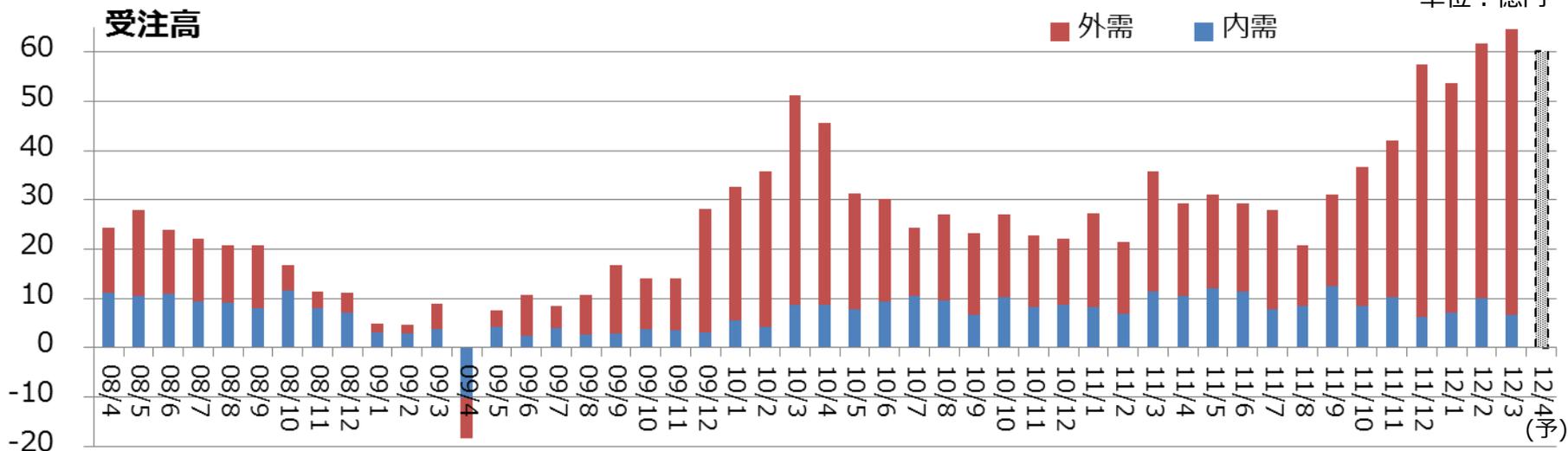


2.受注状況

受注状況及び受注残高



単位：億円



3.財務状況

(1) 貸借対照表



単位：億円

	11/3末	(内中国)	12/3末	(内中国)	増減	
資産 計	359	(67)	508	(176)	+149	
流動資産	236	(46)	371	(143)	+135	
現預金	41		53		+12	11/4Qの売上増に伴う増加
売上債権	77		105		+28	
たな卸資産	107		188		+81	スマートフォン市場への出荷増大に向けて増加
固定資産	123	(21)	136	(33)	+14	
負債 計	138	(44)	231	(128)	+93	
流動負債	118	(44)	215	(124)	+97	
支払債務	80		165		+85	2011年後半よりの生産増に伴う増加
固定負債	20		16		△4	
純資産	221	(24)	277	(48)	+56	
資本金・資本剰余金	147	(14)	182	(34)	+35	公募および第三者割当増資 35億円
利益剰余金	70		85		+16	
自己資本比率	60.9%	(35.2%)	53.9%	(27.3%)	△7.0%	
発行済株式数	68,019,379 株		74,919,379 株		+6,900,000 株	公募および第三者割当増資 35億円

(2) キャッシュ・フロー

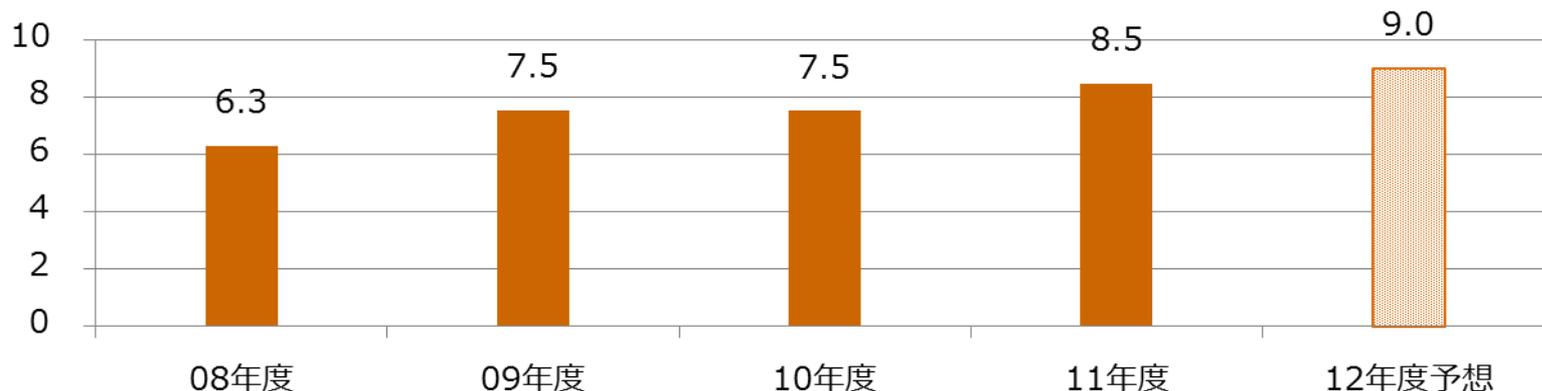
単位：億円

	11/3期	12/3期	
営業活動によるC/F	23	5	
償却前利益(税引前)	40	45	税引前利益 37億 減価償却費 8億
運転資金の増減額	△17	△37	支払債務の増加 84億 売上債権の増加△28億 たな卸資産の増加△81億 その他流動資産の増加△12億
投資活動によるC/F	△16	△19	
日本工場設備	△3	△2	
中国工場設備	△7	△14	
海外現法設立	△4	△5	11/3：中国鋳物会社 12/3：インド生産会社
財務活動によるC/F	△4	26	
新株発行	-	35	公募および第三者割当増資 6.9百万株
短期借入金	11	-	
社債の償還	△3	△3	
配当金支払	△7	△7	期末配当 5円/株 中間配当 5円/株
自己株式の取得	△6	-	
期中増減額	2	12	
預金等期末残高	41	53	

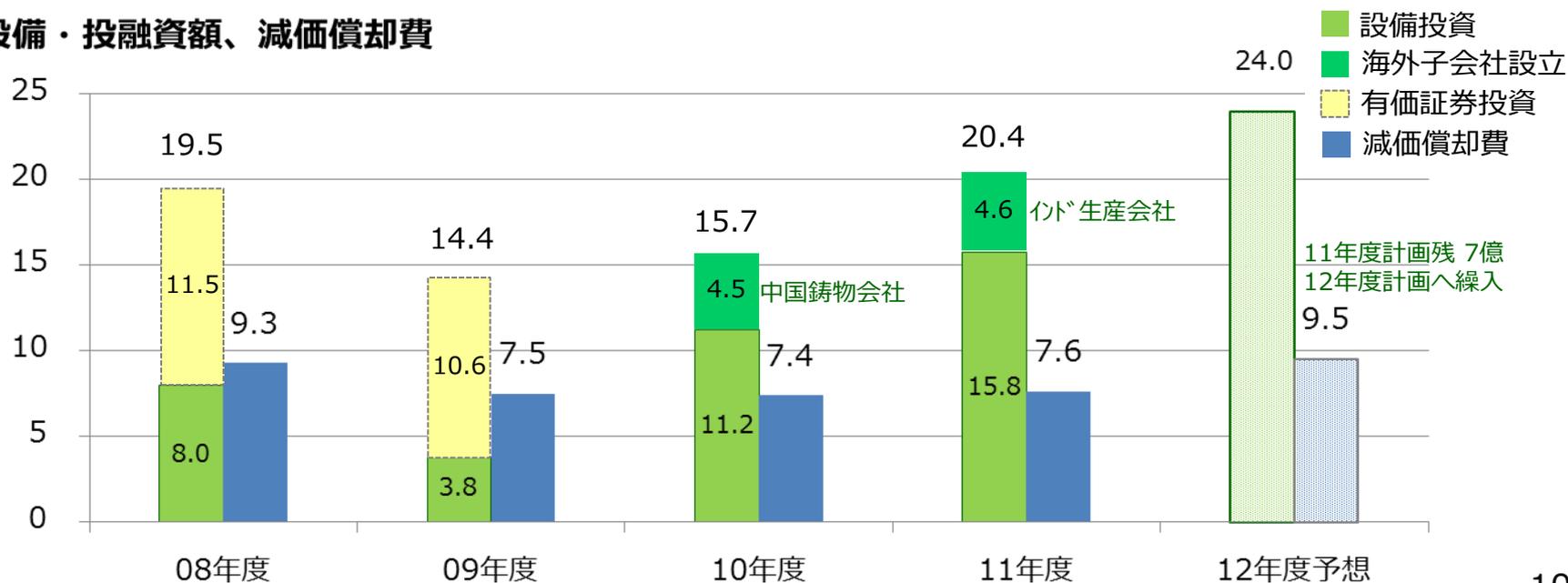
(3) 研究開発費、設備・投融資額、減価償却費

単位：億円

研究開発費



設備・投融資額、減価償却費



4.主要課題

(1) 新製品開発

		日本生産	中国生産
新製品	IT分野	FTG18TL	VA1 [日本から中国への生産移管機種] G18- II
	自動車関連・その他産業機械	TMA8-IV	G300 G350 R17NC- II R7NC
今後の 開発予定	IT分野	自動旋盤 2機種	自動旋盤 3機種
	自動車関連・その他産業機械	日本生産機種バージョン アップ	

新潟県3工場に生産を集約

新潟工場に新棟増設、生産効率化 投資

新潟県

長岡工場 38,259m²

高見工場 5,620m²

新潟工場 6,438m²

新棟 2,952m²

→ 9,390m² 約1.5倍へ



新潟西港から約1km
現状の新潟工場の土地に新棟を増設
5月中完成予定

(注)m²は建物面積

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。